



119番通報の受け付けが、沖縄県消防指令センターへ!!

去る10月23日より、宜野湾市消防署で受け付けていた119番通報が、嘉手納町のニライ消防本部内に設置の「沖縄県消防指令センター」へと変更された。そこで11月4日、宜野湾市議団は現場視察を行い、施設の概要説明を受け、運営状況の確認を行った。



ぎのわん

第97号

市議会だより

宜野湾市議会

宜野湾市野嵩一丁目1番1号
電話 (098) 893-4411 (内337)
印刷 文進印刷株式会社



所管事務調査で千葉県千葉市にある「放射線医学総合研究所」を視察する総務常任委員会の委員（詳細は7頁参照）。

定例会の経過

9月	2日	議会運営委員会、各派代表者会議
	3日	議会改革に関する調査特別委員会
	4日	会期の決定、案件上程、説明 議会改革に関する調査特別委員会 全員協議会
	7日	議会改革に関する調査特別委員会
	8日	上程案件に対する質疑、委員会付託
	9～11日	各常任委員会議案審査
	14日	議会改革に関する調査特別委員会
	15～18日 24日	一般質問（質問者22名）
	15日	議会運営委員会
	17日	各派代表者会議、委員長報告（中間表決） 議会改革に関する調査特別委員会
	18日	議会運営委員会
	24日	議会運営委員会、各派代表者会議
	25日	各常任委員会の審査報告及び表決

国民一人一人に個人番号を付番!! 個人番号
(個人情報)の取り扱いを定める個人情報保護
条例改正案を賛成多数(反対8名)で可決!!

9月

定例会

会期
9月4日～9月25日

第392回宜野湾市議会定例会は、9月4日から9月25日までの22日間の会期で開かれました。

今定例会は、一般会計補正予算（第2号）や宜野湾市個人情報保護条例の一部を改正する条例、宜野湾市手数料条例の一部を改正する条例のほか、宜野湾市子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例など、43件にわたる議案等が審議され、22名の議員による一般質問も行われました。

9月定例会

主な議案審議経過

個人情報保護条例の一部を改正する条例

可決

議案の概要は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の公布に伴い、特定個人情報保護等に関する規定を追加し、及び規定の整備を図るための条例改正である。

議案審査では、特定個人情報報を悪用した、なりすましへの対策について質疑がなされ、これに対し、個人番号を利用し情報の提供を受ける際は、個人番号と顔写真付きの身分証明書の提示が必要であり、なりすましの未然防止が可能であるとの答弁がなされた。

本会議の表決に当たっては、マイナンバーカードの普及が進めば、なりすまし犯罪がふえる懸念があり、税や社会保障分野での徴税強化や、社会保障の削減の手段にされる懸念があるとの反対討論に対し、個人番号制度導入を前に、市民のより一層の個人情報保護、権利、利益の拡充を図る上でも必要な改正であるとの賛成討論がなされ、起立表決の結果、賛成多数（賛成十七、反対八）で原案のとおり可決された。

決議・意見書

八月十二日の沖縄本島東側の海上で訓練中の米陸軍のヘリコプターが米海軍艦船への着艦に失敗し墜落した事故を受け、本会議最終日（九月二十五日）に議会運営委員会より「米陸軍MH-60ヘリコプター墜落事故に対する抗議決議及び意見書」が提案され、起立表決の結果、全会一致でそれぞれ原案可決された。

また、同日付で呉屋等議員ほか十六名の議員から「米軍基地普天間飛行場の固定化を許さず即時閉鎖・早期返還の実現に関する意見書」が提案された。議員からは、このままでは戦争につながる基地が県内に建設され、さらなる危険を強いられる。県知事と一緒に閉鎖・返還を要求するべきであり、同意意見書は市民の総意に反するとの反対討論がなされ、起立表決の結果、賛成多数（賛成十七、反対八）で可決された。

また、桃原功議員ほか七名の議員から「普天間基地の県内移設阻止と早期閉鎖・返還に関する意見書」が提案され、起立表決の結果、賛成少数（賛成八、反対十二、退場五）で否決された。

普天間基地の県内移設阻止と早期閉鎖・返還に関する意見書

否決

今、普天間基地の騒音等の状況は、KC-130空中給油機が2014年8月に普天間基地から山口県岩国基地に移駐してから1年が経過したものの、県や宜野湾市によると普天間基地には現在も戦闘機等の飛来や日米航空機騒音防止協定で運用が制限される22時を超えて飛行訓練する米軍機も複数確認されている。

辺野古移設をめぐる国と県の集中協議では政府側が移駐を実績として強調したが、県は「際立った効果は見られていない」としており、宜野湾市の担当者も「離発着地点付近の騒音回数は減少しているが、騒音がふえている地域もあり、単純に評価できない」と負担軽減策の成果には疑問符がついたままで、MV-22オスプレイやヘリの飛行は宜野湾市上空に限らず、北部や那覇市等沖縄全域で騒音を撒き散らしているのが実態である。

そのような中、第三者委員会が「辺野古埋め立て承認には瑕疵あり」との報告を根拠に知事は埋め立て承認の「取り消し」を近日に出す予定だ。また、国連人権理事会等で沖縄だけに過重な負担を強いる政府の安全保障政策を厳しく批判し、辺野古の新基地建設反対を訴えた。さらにあらゆる手段を使って新基地建設を止める覚悟だと強調した。昨年の県知事選、衆院選で示されたのは新基地建設に反対するのが民意であり、これ以上の基地負担はノーだということだ。

仲井眞県政当時の2012年に実施した県民意識調査でも米軍基地の沖縄集中に7割を超える県民が差別であると答え、沖縄タイムスが今年6月に実施した調査でも辺野古移設反対が66%に上がった。政府の「辺野古移設が実現せぬと普天間は固定化する」との理論には、万感の怒りを込めて強く抗議し、「辺野古移設に固執するからこそ普天間の返還が遅れている」ときっぱり論破し、沖縄だけに基地を押しつけるやり方は何の負担軽減でもなく強化、拡大でしかない。そうなれば有事等の際、基地が集中する沖縄が的になるリスクが高まるだろう。そうならないために私たちは一つ一つ基地を返還させることが肝要であろう。

全ての可能性を排除しないでと、県内移設はいたし方ないような主張では、日米両政府に足元を見られてしまう。今、私たちは声を一つにして19年前に日米合意した普天間の返還を強く求め、もうこれ以上基地はいらぬという沖縄県、宜野湾市の民意を強く主張し、普天間基地の県内移設阻止と固定化を許さず、早期閉鎖・返還を日米に強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年9月25日

沖縄県宜野湾市議会

＜あて先＞

内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、沖縄及び北方対策担当大臣

米軍基地普天間飛行場の固定化を許さず即時閉鎖・早期返還の実現に関する意見書

可決

米軍基地普天間飛行場返還について、平成8年の日米両政府によるSACO合意から既に19年が経過している。当時の橋本総理大臣とモンデール駐米大使との共同記者会見において「普天間飛行場は今後5年乃至7年以内に全面返還される」という日米合意が発表された。しかし、いまだに返還は実現されていない。

返還合意の原点は「住宅密集地で街の真ん中にあり、万が一事故が発生すると人命を失うおそれが強い普天間飛行場の早期の危険性除去」である。

しかしながら、現在の政府と沖縄県の米軍基地普天間飛行場に関する議論は移設先だけに終始してしまっている感があり、当事者である宜野湾市民として不安、危惧を抱かずにはいられない。

このままでは、同飛行場は宜野湾市内にとどまるおそれがあり、市民にとって決して許されるものではなく、耐えられないものである。

これまで本市議会は、11年前の沖縄国際大学への大型ヘリ墜落炎上事故など事件・事故が起こるたびに一貫して日本政府及び関係機関に1日も早い危険性の除去、閉鎖・返還を要請してきた。

このような中、現地時間の9月2日午後9時頃、米国南部の海兵隊基地において、夜間訓練中の大型ヘリコプターCH-53-Eが着陸に失敗し、乗っていた海兵隊員1人が死亡、11人が負傷する事故が発生した。普天間飛行場には同型ヘリが8機常駐し、夜間の離発着、飛行訓練も頻繁に行われている。このまま返還がくれ、同飛行場が固定化及び現状維持となれば、恐怖と犠牲を強いられるのは宜野湾市民にほかならない。戦後70年もこうやってきた基地被害をこれ以上市民に強要することは絶対許されるべきではない。

よって本市議会は、9万7千余の市民の尊い生命や財産を守るために「普天間飛行場を絶対固定化することなく、1日も早い閉鎖・返還と目に見える形での危険性の除去及び基地負担軽減の実現」を強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年9月25日

沖縄県宜野湾市議会

＜あて先＞

内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、
沖縄及び北方対策担当大臣、外務省沖縄担当大使、
沖縄防衛局長、沖縄県知事

一般質問

今定例会は、22名の議員から市政全般について、多くの一般質問がありましたが、紙面の都合上簡潔に掲載いたします。詳しい内容は、市議会会議録を自治会事務所や議会事務局に保管しています。さらに、市のホームページにも掲載いたしますので御利用ください。

答弁者

○市長 佐喜眞 淳
○副市長 松川 正則
○教育長 玉城 勝秀
○水道事業管理者 和田 敬悟
○総務部長 米須 良清
○企画部長 米須 清盛
○基地政策部長 伊佐 徳光
○福祉推進部長 國吉 秀子
○健康推進部長 比嘉 直美
○市民経済部長 伊波 保勝
○建設部長 石原 昌恵
○教育部長 島袋 清松
○指導部長 仲村 宗男
○消防長 浜川 秀雄

日米地位協定の環境補足協定について

桃原 功議員



◎議員 昨年十月に日米間で合意された日米地位協定に係る環境補足協定の内容についてお伺いしたい。

◎基地政策部長 環境補足協定の実質合意の概要については、大きく二つのポイントがあり、一点目は、環境基準について日米両国又は国際約束の基準のうち、より厳しいものを採用すること、二点目は、環境事故後の米軍施設・区域への立ち入りや土地の返還に関連する現地調査において日本の当局が立ち入りをする際の手続きを作成・維持することなどが主な内容である。

◎議員 環境補足協定が合意されることでどのような効果があるのかお聞きしたい。

◎基地政策部長 米軍施設・区域への返還前の立ち入りや環境事故の際の立ち入りに関する手続きがルール化され、調査や対策が円滑に進められるものと考えている。

◎議員 返還跡地を安心して利用するため、支障除去を徹底して行っていたきたい。

県道32号線と市道長田1号の交差点について

米須清正議員



◎議員 県道三二号線と市道長田一号の交差点整備について、以前質問した際には、用地補償契約が完了した後に工事を行う予定であると同ったが、現在の進捗状況についてお聞きしたい。

◎建設部長 工事を行う沖縄県中部土木事務所に問い合わせを行ったところ、現在用地交渉を継続して行っている段階で、今年度中の用地補償

完了を目指しているとのことである。また、当該交差点の工事については、平成二十八年度に着手を予定していると同っている。

◎議員 県道三二号線と市道長田一号の交差点は、隣接していたコンビニが移転してからも、以前にも増して混雑を引き起こしている状況がある。特に、朝夕の通勤・通学の時間帯は渋滞しているので、早急な拡張工事が必要であると考えており、市当局から沖縄県中部土木事務所を初めとする関係機関への要請をぜひお願いしたい。



県道32号線と市道長田1号の交差点（通称：富浜カジマヤー）

学校給食におけるアレルギー対策について

伊佐哲雄議員



◎議員 本市の食物アレルギーを持つ児童数とアレルギー除去食を提供している児童数についてお伺いしたい。

◎指導部長 ことし五月に各学校を調査した結果によると、食物アレルギーを持つ児童生徒は小学校と中学校を合わせて六五名おり、そのうち三八名がアレルギー除去食の提供を受けている。

◎議員 本市ではコンタミ

ネーションに対してどのような措置をとっているか。

◎指導部長 コンタミネーションとは、食品の製造過程でアレルギーが混入することであり、本市では、調理作業マニキュアに従い、献立作成時にアレルギーを含む料理を確認している。また、調理工程では器具や機械の確認を行うとともに、全調理員へアレルギーを含む料理の周知徹底を図るなど、それぞれの工程で複数の職員による確認を行って対応している。

◎議員 今後も十分注意して対応していただきたい。

普天間中学校裏の喜友名公園整備計画について

知念秀明議員



◎議員 昭和四十三年に喜友名公園整備に関して都市計画決定がされており、現在までの四十七年間、地主は土地を利用できない状態にあるが、当該公園の整備計画についてお伺いしたい。

◎建設部長 当該公園整備の事業化については、野嵩第一公園または、比屋良川公園の整備事業完了後に予定している。なお、現在実施中の公園整備事業が延びる可能性もあり、具体的な喜友名公園の整備時期はまだ決まっていない。

◎議員 喜友名公園の整備時期が不明なため、地主は整備予定地に墳墓の建設を始めている。現在事業中である野嵩第一公園整備では、墳墓の移転に時間を要し、事業が長期化していることを鑑みると、喜友名公園整備も同様に、事業の長期化が予想される。そこで、整備計画を示していたら、整備の建設もなく、整備計画の策定をお願いしたい。

試乗用ナンバープレートの導入について



玉城健一郎議員

◎議員 本市において小型バイクの試乗用ナンバープレートを導入する場合のメリットとデメリットについてお伺いしたい。

◎総務部長 メリットは、試乗をするために行われる登録・抹消手続の減少やナンバープレートの削減、デメリットは、試乗用ナンバープレートの管理に関する事務負担の発生が考えられる。具体

的には、未更新事業者への催促事務や閉鎖事業所からの回収事務などが想定される。

◎議員 バイク販売店では、一旦、オーナー名義で登録し、販売する際に購入者の名義に登録し直すため、販売店の事務が煩雑になる。那覇市や浦添市では既に試乗用ナンバープレートが導入されているが、今後、本市で導入する予定があるかお聞きしたい。

◎総務部長 導入に関する要望や他市の動向等も踏まえ、検討してまいりたい。

◎議員 ぜひ、導入していたきたい。

入札制度の見直しについて



伊佐光雄議員

◎議員 沖縄県建設業審議会

は、入札に係る最低制限価格の引き上げについて県への答申を検討している。そこで、県の動向に伴う本市の対応をお伺いしたい。

◎総務部長 本市では、最低制限価格を県の財務規則に準じて設定している。今後県が最低制限価格の引き上げを実施した場合、当該価格の見直しについて検討を考えている。

市道伊佐36号の道路整備について



上地安之議員

◎議員 市道伊佐三六号と国道五八号が合流する交差点の事故の状況についてお伺いしたい。

◎市民経済部長 平成二六年中に十二件発生しており、十一件は追突によるものである。主な事故原因は国道からの車に気を取られることによる前方不注意となっている。

◎議員 沖縄県全体から見た場合、当該交差点の事故件数



事故が多い市道伊佐36号と国道58号との合流地点

はどのようになっているか。

◎市民経済部長 国道、県道の事故件数は、当該交差点が十二件で最も多く、次いで古島インターが十一件、旭橋交差点が十件となっている。

◎議員 交通安全之塔が設置されている交通島を含めて交差点の改良整備を行っていた

◎建設部長 当該交通島を含めてさまざまな角度から改良を検討してまいりたい。

◎議員 西普天間住宅地区返還後の将来交通量についても様々な提言があるので、しっかりと対応していただきたい。

高齢者夫婦世帯の老老介護、認知介護の実態と対策について



島勝政議員

◎議員 高齢者夫婦世帯で、夫婦のどちらかが介護状態にあり、老老介護を行っている世帯の実態をお伺いしたい。

◎健康推進部長 今年度新たな取り組みとして、はつらつ度チェックに係るアンケート未返信者のうち高齢世帯に対して、地域包括支援センターの職員が訪問調査を行っている。この調査結果から、老老介護や認知症高齢者が認知症

高齢者を介護する認知介護の状況についても把握し、必要な対策を検討してまいりたい。

◎議員 金銭面にゆとりがないため介護サービスを受けることができない老老介護世帯や認知介護世帯等に対して、今後、行政や地域の支援が必要と考えるが、いかがか。

◎健康推進部長 今後、新たに設けられる介護予防・日常生活支援総合事業の中で、高齢者の見守り等については検討してまいりたい。

◎議員 地域包括支援センターでしっかりと調査の上、取り組みをお願いしたい。

公共施設再生可能エネルギー等導入事業について



山城康弘議員

◎議員 当初予算に計上されていた当該事業が、不採択となつた経緯をお伺いしたい。

◎市民経済部長 本事業は、防災拠点等へ再生可能エネルギー及び蓄電池を導入する事業である。なお、市内三施設への導入を目指し、環境省実施の補助事業へ申請をしたが、ことし五月十八日に不採択決定通知がなされた。しかしながら、七月に、県実施の基金

事業で第二次配分がなされることとなり、赤道老人福祉センターへの事業実施を要望したところである。

◎議員 蓄電池を含めた太陽光発電の導入には、三千八百万円ほどかかるが、蓄電池を除けば、八百万円から一千万円で整備可能である。そこで補助を受けられない場合を想定し、蓄電池を除いた設計等も今後検討してはいかがか。

◎市民経済部長 蓄電池に関しては、必要な設備であると認識しており、今後、議員の指導も仰ぎつつ検討をしてまいりたい。

ピロリ菌検診 助成制度の 導入について



岸本一徳議員

◎議員 本市の胃がん検診の受診率、胃がん発見者数の推移及び分析について伺いたい。

◎健康推進部長 受診率は平成十四年度の十七・九%から平成二六年度の四・五%と減少傾向にあるが、平成二四年度以降は胃がん発見者がいない状況である。なお、課題として胃がん検診受診率向上の強化による早期発見と早期治療が必要と考える。

◎議員 胃がんの発症を引き起こすピロリ菌の検診において、沖縄市と嘉手納町は既に公費助成を実施していることから、本市でも取り組んでみてはいかがか。

◎健康推進部長 ピロリ菌検査は胃がんの発症予防に有効であると考えており、今後調査研究してまいりたい。

◎議員 検診受診率を高める取り組みとして早急に検討をお願いしたいがいかがか。

◎副市長 他市の事業実績や対象年齢等も研究の上、がん根絶へ向け、早急に検討してまいりたい。

地域清掃に係る 行政の協力体制 について



宮城 司議員

◎議員 区内清掃への市の支援方法について伺いたい。

◎市民経済部長 清掃時に出たごみの委託業者への回収依頼及びパッカー車費用、倉浜衛生施設組合への搬入の調整等の支援を行っている。また、排出されたごみについても各自治会から相談があれば清掃指導員と調整し、支援を行っている。

理状況について伺いたい。

◎建設部長 巡回や連絡を受け対応しており、規模に応じて維持管理業者や職員で清掃を行っている。

◎議員 区内清掃の清掃の一環として側溝を清掃したいが、側溝のふたのあけ閉めや土砂等の回収について市の協力をお願いできないか。

◎建設部長 側溝ふたのあけ閉めは行政で行いながら、ぜひ地域住民の方々の御協力のもと側溝清掃を実施していきたいと考えている。

◎議員 限られた予算の中で、ぜひ支援をお願いしたい。

宜野湾記念病院前 交差点の安全対策 について



伊波一男議員

◎議員 ことしの六月ごろに、宜野湾記念病院から国道三三〇号に出て中部商業向けに右折しようとした車両が、我如古方向から来た車両と衝突をし、車両が使用不能になるほどの交通事故が発生した。そこで、多くの市民が宜野湾記念病院前交差点から中部商業向けに右折するため、当該交差点に係る安全対策をしっかりと講じる必要があると考え

るが、いかがか。

◎市民経済部長 宜野湾記念病院前交差点については、平成二十五年にも議員から交通安全対策に関する御指摘があり、当該箇所へのセンサー設置による既設信号機との連動や停止禁止部分の設置要請を宜野湾警察署に行っているが、いまだ実現に至っていない。そのため、当該交差点の交通安全対策については、宜野湾警察署の助言を受けつつ、「交差点内混雑時進入禁止」や「車両出入り注意」といった注意喚起の看板設置を行ってまいりたい。

◎議員 本市の認知症患者数について伺いたい。

◎健康推進部長 一般的に日常生活自立度のランクⅡ以上から認知症の状況が見られると解釈され、本市は一千九百一十八人と、要介護認定者の七一・五%を占めている。

◎議員 鳥取県琴浦町では、タッチパネル式の端末を活用し早期発見に取り組んでおり、本市でも検討してはいかがか。

認知症対策に ついて



石川 慶議員

◎議員 本市の認知症患者数について伺いたい。

◎健康推進部長 一般的に日常生活自立度のランクⅡ以上から認知症の状況が見られると解釈され、本市は一千九百一十八人と、要介護認定者の七一・五%を占めている。

◎議員 鳥取県琴浦町では、タッチパネル式の端末を活用し早期発見に取り組んでおり、本市でも検討してはいかがか。

◎健康推進部長 物忘れ総合プログラムをタッチパネルに搭載した機器だと思うが、健康づくり市民大会で利用したところ大変好評を得たことから、今後、補助金等の活用を勘案し、購入を検討したい。

◎議員 また、認知症サポーター養成講座の実施状況について伺いたい。

◎健康推進部長 平成二六年度は四回の講座を行い、長寿大学や講演会でも開催し、参加者合計は百四十名に上る。

◎議員 職員や議員が受講し、見本となることで、広く市民の啓発に努めていただきたい。

里道（長田3丁目 15番から18番付近） の整備について



我如古盛英議員

◎議員 長田三丁目十五番から十八番付近の里道は長年放置されており、雑木や雑草で険しいところとなっている。当該里道は、長田六号と長田十五号につながっており、市道としての整備をし、認定できないか伺いたい。

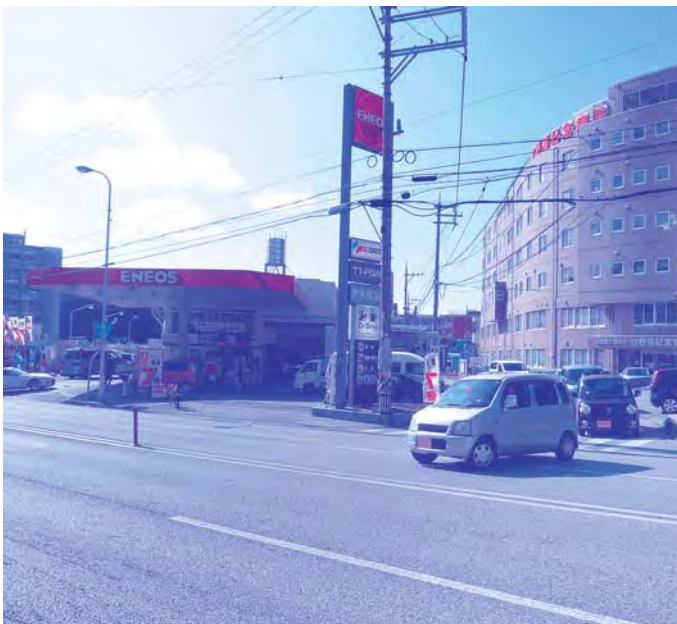
◎建設部長 現在、当該箇所における市道の整備計画はないため、市道として整備を行うことは大変厳しいものと考え

える。

◎議員 当該箇所の周辺地域で開発計画の話があるが、市は把握しているのか。また開発に当たり、里道の利活用もできないか伺いたい。

◎建設部長 開発計画については開発業者より相談を受けており把握している。開発後も里道としての機能が維持できるように指導していきたい。

◎議員 市へも相談に来ていることから、計画を実施するに当たり、ぜひ里道の有効活用と、周辺の地主に不利益が生じないよう指導をお願いしたい。



安全対策が求められる宜野湾記念病院前交差点

オスプレイから発生 する低周波による 健康被害について



宮城 克議員

○議員 オスプレイから発生する低周波音による子供たちへの健康被害について、検診の実施状況をお聞きしたい。

◎健康推進部長 同趣旨での検診は実施していない。

○議員 妊婦健診や心理相談時において、同様の相談を受けたことがあるか伺いたい。

◎健康推進部長 現在、そのような相談は受けていない。

○議員 乳幼児、一歳六カ月、

三歳児の健診時に、難聴や脳の反応に疑いがある症例があったかお聞きしたい。

◎健康推進部長 三歳児健診時に耳の聞こえで精密検査となった事例はあるが、同様の事例はない。

○議員 今後は各種健診において同様の健診項目も実施していただき、かかる費用についても国が責任を持って負担すべきと考えるが、いかがか。

◎基地政策部長 低周波音等が引き起こす被害については政府が責任を持って対応すべきものと考えており、関係部署と協議してまいりたい。

小中学校のカーテン クリーニングについて



佐喜真 進議員

○議員 小中学校における教室のカーテンクリーニングの状況について伺いたい。

◎指導部長 予算はつけているが、学校事務運営費の枠内で学校ごとに対応しており、十三校中、九校が教室のカーテンクリーニングを行っている。

○議員 カーテンについていたほり等に対するアレルギーや、そこで給食を食べるなど、教

育環境的にかなり問題がある。現状を調査の上、新年度に予算化するべきではないか。

◎教育長 従来どおり学校で対応可能なものは学校で行い、分厚いものや体育館などの大きなカーテン等については、次年度の予算化に向け、関係部署と調整してまいりたい。

○議員 市長の見解についても伺いたい。

◎市長 予算の優先順位等も踏まえ、教育委員会と協議の上、調整してまいりたい。

○議員 一刻も早くきれいなカーテンのもとで勉強ができる環境にしていきたい。

交差点の横断歩道と 停止線表示の整備 及び信号機の設置



比嘉憲康議員

○議員 市道真志喜・大謝名一号と県道三四号線の交差点における横断歩道や停止線等が見えなくなっているが、把握をしているのか。また、その対策についても伺いたい。

◎市民経済部長 当該箇所は担当部署において九月十一日に確認しており、白線の修繕を宜野湾警察署へ要請してまいりたい。

○議員 早急に改善をお願い



白線の引き直し及び横断歩道の撤去と信号機移設箇所

したい。次に、大謝名バス停前の横断歩道の交通安全対策についてお聞きしたい。

◎市民経済部長 当該箇所は交通量の多い県道にあり、信号機もないことから歩行者の横断が大変厳しい状況にある。

◎議員 宜野湾警察署からは、当該横断歩道を撤去し、百メートル先の真栄原寄りの信号機つきの横断歩道を約五十メートル大謝名交差点側に移設する予定であるとの情報を得ている。

○議員 住民への説明会も実施の上で、宜野湾警察署と連携し、交通安全対策に取り組んでいただきたい。

キャンプ瑞慶覧 (西普天間住宅地 区)について



呉屋 等議員

○議員 同地区における住宅解体時のアスベスト対策について伺いたい。

◎基地政策部長 中部保健所等の指導を受けながら、飛散防止措置の施工後、アスベストの処理、建物解体作業に着手すると聞いている。

○議員 インダストリアル・コリドー地区南側が早期返還となった場合、整合性を持たすため、現行の跡地利用計画

を見直す考えもあるのか。

◎基地政策部長 必要に応じ見直しも検討してまいりたい。

○議員 六月三十日のでいご通り会からの同計画に係る要請も踏まえ、隣接する商業地域の課題解決に向け、地域の声を同計画に反映させるため通り会や地域住民との協議会を設置していただけないか。

◎基地政策部長 地権者や関係者とも意見交換を行い、次の機会に回答してまいりたい。

○議員 周辺地域も一緒に発展しなければ、跡地利用は意味をなさないと考えるため、ぜひお願いをしたい。

普天間基地の閉鎖・ 返還等の取 組みについて



知念吉男議員

○議員 普天間基地の閉鎖・返還等に向け、具体的なアクションプログラムはあるのか。

◎基地政策部長 これまでのアクションプログラムの検証を行いながら、今後、返還に向けて進捗が滞るようであれば、市民の意向等も確認の上、市民大会の開催も検討してまいりたい。

○議員 平成二六年二月の施政方針の中で、同基地の五年

以内の運用停止実現のための普天間飛行場負担軽減推進会議の設置が述べられているが、この五年以内の運用停止の約束はなぜ消えたのか。

◎基地政策部長 同会議は平成二六年十月以降全く開かれておらず、本市としても幾度となく構成員である政府や沖縄県に対して再開を求めているが、双方からの反応がなく大変困惑している。

○議員 国に対して、もっと主張すべきではないか。

◎市長 基地負担の軽減、危険性の除去に向け、粘り強く要請してまいりたい。

性の多様性LGBTへの支援について



屋良千枝美議員

◎議員 本市の学校現場において、自分の性に違和感を持ち、教師等に相談している児童生徒の事例は何件あるのか。

◎指導部長 これまでにLGBTに該当する事例が一件あったとの報告を受けている。

◎議員 該当事例も踏まえ、教育委員会としては今後どのような対策を講ずるお考えか。

◎指導部長 昨年、文部科学省や県教育委員会から示され

しまくとぅば普及・振興の取り組みについて



宮城勝子議員

◎議員 学校フットゥティ、ウチナーグチ、チャンネルラアシカタソーイビガ。

◎指導部長 小学校二年、三年生、中学校二年生の国語で方言を学ぶ単元等があり、運動会でのウチナーグチバレーのラジオ体操やウチナーグチを直接学ぶ方言クラブを設置している学校もある。

◎議員 学校以外のシキンラフティ、チャンネル取り

た「性同一性障害に係るきめ細かな指導について」の通知文の趣旨を踏まえ、各学校に対し、全職員一丸となって支援、相談体制の充実及び具体的な支援の実施について助言してまいりたい。また、校長会を通して、学校での適切な対応が図られるよう教職員の理解とスキルアップに努めてまいりたい。

◎議員 各クラスに一人はいるとされるLGBTに対し、どう行動をとればよいのか。それが原因でいじめが起きないように、十分な支援体制や細やかな対応をお願いしたい。

組みソーイビガ。

◎教育部長 地域の歴史や伝承などを題材とした創作市民劇の上演を通して、シマクトゥバの普及に努めるとともに、うちなあぐちサークルの支援も行っている。

◎議員 ウチナーグチに対する教育長の思いを伺いたい。

◎教育長 シマクトゥバは沖縄県が誇るべき大事な言葉であり、その普及は教育に課せられた大きな役割であると感じている。

◎議員 教育長の思いのとおりに、本市でもどんどん広まっていくものと考えている。

キャンプ瑞慶覧跡地利用計画と今後の展望について



桃原 朗議員

◎議員 同計画における住宅ゾーンの配置場所、面積について、地権者の要望に沿って計画されたものか伺いたい。

◎基地政策部長 地権者への説明会やアンケート調査、また地元協議会や検討委員会、策定委員会において調整を重ねた上で策定している。

◎議員 当該跡地利用計画において都市公園に併設して管理型墓地が計画されているが、計画内容や進め方についてお聞きしたい。

◎基地政策部長 管理型墓地については約一ヘクタールを都市公園に隣接して配置し、斜面緑地等を生かしながら景観や環境に配慮した墓地になるよう検討している。設置場所については、現在案を検討中であり、決定次第、説明会等を開催してまいりたい。

◎議員 整備に当たっては、墓地数にあつた駐車場の確保や外観等の配慮もお願いしたい。また、地権者の意向もしっかりと酌んで計画を進めていただきたい。

経済建設常任委員会の所管事務調査

経済建設常任委員会は去る十月八日に上大謝名地区学習等共用施設及び長田地区コミュニティ供用施設（建設予定地）の視察を行った。

上大謝名地区学習等共用施設では、市の担当者による説明後、施設内の見学を行った。委員からは集会室の規模と使用方法について質問があり、規模は百十二平米で、壁面に収納できるステージがあるため、地域のイベント等に活用することができるとことや、遮音性の高い扉で二つに分割して使用でき、目的に応じて有効に活用することができるとなどの説明を受けた。

長田地区コミュニティ供用施設（建設予定地）では、整備事業の進捗状況について説明を受けた。



10月19日に完成した上大謝名地区学習等共用施設

議員研修会（重粒子線治療施設の概要等について）

本市議会では、キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区へ整備が計画されている重粒子線治療施設に関して、基礎的な知識から治療方法、施設等に関する専門知識や整備計画の進捗状況等の情報を共有し、今後の議会審議の参考とすることを目的に、去る十月八日に、沖縄国際メディカルアイランド研究機構の玉城信光理事長を講師に迎え、「重粒子線治療施設の概要等」に係る議員研修会を行った。

議員からは、災害時や万が一の事故等による放射線漏れへの懸念や、沖縄県に立地する意義について、がん患者の治療費負担や、全国の重粒子線施設との比較など、活発な質疑が行われた。



総務常任委員会の所管事務調査

総務常任委員会は、平成二十七年十月二日から三日の間、県外において所管事務調査を実施した。

群馬県太田市では、「上下水道の組織統合等について」、千葉県千葉市では、「放射線医学総合研究所との連携・協定について」それぞれ調査を行った。

また、キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区へ、沖縄県が重粒子線がん治療施設の導入を検討していることに伴い、千葉県千葉市にある放射線医学総合研究所で重粒子線治療や当該施設の危険性の有無について学んだ。

議員からは、当該施設が放射線使用施設であるため、稼働停止した際の施設の処理方法や加速器が埋設されている理由、重粒子線治療による副作用について活発な質疑が行われた。

市議会を傍聴してみませんか。

本会議は、一般に公開されており、傍聴受付で住所、氏名等の記入を行えば、どなたでも傍聴することができます。

十二月定例会は、十二月三日（木）に開会予定となっております。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

第392回宜野湾市議会定例会付議事件一覧及びその結果		
事件番号	件 名	議決結果
議案第46号	平成27年度宜野湾市一般会計補正予算（第2号）	原案可決（賛成多数）
議案第47号	平成27年度宜野湾市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決（全会一致）
議案第48号	平成27年度宜野湾市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決（全会一致）
議案第49号	平成27年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決（全会一致）
議案第50号	平成27年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決（全会一致）
議案第51号	平成27年度宜野湾市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決（全会一致）
議案第52号	平成27年度宜野湾市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決（全会一致）
議案第53号	宜野湾市個人情報保護条例の一部を改正する条例について	原案可決（賛成多数）
議案第54号	被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決（賛成多数）
議案第55号	宜野湾市附属機関設置条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）
議案第56号	宜野湾市学習等供用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）
議案第57号	宜野湾市手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決（賛成多数）
議案第58号	宜野湾市子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）
議案第59号	伊佐海岸市有地の処分について	同 意（全会一致）
議案第60号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意（全会一致）
議案第61号	上大謝名地区学習等供用施設の指定管理者の指定について	同 意（全会一致）
議案第62号	平成26年度宜野湾市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定 （全会一致）
議案第63号	宜野湾市議会会議規則の一部を改正する規則について	原案可決（全会一致）
認定第1号	平成26年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について	閉会中の継続審査
認定第2号	平成26年度宜野湾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	閉会中の継続審査
認定第3号	平成26年度宜野湾市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定（全会一致）
認定第4号	平成26年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定（全会一致）
認定第5号	平成26年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定（全会一致）
認定第6号	平成26年度宜野湾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	閉会中の継続審査
認定第7号	平成26年度宜野湾市介護老人福祉施設等特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定（全会一致）
認定第8号	平成26年度宜野湾市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定（全会一致）
報告第11号	平成26年度宜野湾市の健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報 告
報告第12号	平成26年度宜野湾市土地開発公社事業報告及び決算報告について	報 告
報告第13号	平成26年度宜野湾市育英会の業務報告について	報 告
報告第14号	平成27年度（平成26年度対象）宜野湾市教育委員会点検・評価報告について	報 告
報告第15号	道路施設における事故の和解等に関する専決処分の報告について	報 告
報告第16号	交通事故による和解等に関する専決処分の報告について	報 告
決議案第5号	米陸軍MH-60ヘリコプター墜落事故に対する抗議決議	原案可決（全会一致）
意見書第10号	米陸軍MH-60ヘリコプター墜落事故に関する意見書	原案可決（全会一致）
意見書第11号	米軍基地普天間飛行場の固定化を許さず即時閉鎖・早期返還の実現に関する意見書	原案可決（賛成多数）
意見書第12号	普天間基地の県内移設阻止と早期閉鎖・返還に関する意見書	否 決（賛成少数）
陳情第20号	本会議（議会開会中）の各自治会（公民館）への映像配信について	採 択（全会一致）
陳情第26号	地元産品奨励及び市内企業優先使用にかかる要請	採 択（全会一致）
陳情第27号	女性の人材育成と積極的登用について	採 択（全会一致）
陳情第28号	県産品の優先使用について	採 択（全会一致）
陳情第29号	キャンプ瑞慶覧（西普天間住宅地区）へ安仁屋地区の拝所等の移転について	採 択（全会一致）
陳情第30号	外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情	閉会中の継続審査
陳情第31号	「高齢者が地域で活躍できる場の拡大」に取り組むシルバー人材センターへの支援について	採 択（全会一致）
	閉会中の継続審査申し出について 認定第1号 平成26年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について 陳情第10号 期日前投票所を大規模集客施設へ設置することについて 陳情第19号 個人住民税（市町村民税）に係る特定寄付金対象施設の指定に関する要望 陳情第25号 伊佐市営住宅跡地の有効利用について 陳情第30号 外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情	承 認 （総務常任委員会）
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第13号 耐震診断費用の自己負担軽減について 陳情第17号 年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書（決議）の採択を求める陳情	承 認 （経済建設常任委員会）
	閉会中の継続審査申し出について 認定第2号 平成26年度宜野湾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について 認定第6号 平成26年度宜野湾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について 陳情第6号 幼稚園教育の制度改善について 陳情第7号 「幼稚園・就学前教育」義務教育化・無償化の早期実現を求める陳情 陳情第8号 「義務教育費国庫負担」堅持及び2分の1還元を求める陳情 陳情第12号 平成27年度福祉施策及び予算の充実について 陳情第16号 受動喫煙防止条例の制定等受動喫煙防止諸施策の強化を求める陳情 陳情第22号 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情 陳情第23号 子宮頸がんワクチン接種後の副反応被害の早期解決を求める要請	承 認 （福祉教育常任委員会）